運営推進会議議事録

開催日時	令和8年 9月 14日(月)
出席者	・管理者 ・エリアマネージャー ・沼田自治会長 ・市役所高齢介護担当 ・地域包括支援センター担当 ・利用者家族（2名）

【議事】

1. サービス提供状況について

■ 利用状況 (9月1日時点)

- **登録人数:** 30名 (男性1名、女性29名)
- **平均利用者数:** 9.5名 (定員10名)
- **平均年齢:** 86.8歳、最高年齢: 95歳
- **要介護度:** 要支援2〜要介護3が多く、平均1.4
- **地域別:** 岩原が最多、次いで塚原、沼田の順

■ 1日の過ごし方

朝のバイタル測定・体操 → 個別入浴・個別レク → 昼食 (利用者と一緒に調理) → 午後レクリエーション・生活リハビリ

■ 事故・ヒヤリハット (4月〜現在)

事故2件、苦情1件

> **① 入浴時:** シャワーチェアとドアの間に利用者の右手が挟まる事故。対策としてシャワーチェアの位置変更を徹底、定期的な入浴研修を実施。
>
> **② 歩行中:** トイレへの歩行中に転倒。対策として歩行器の持参、フィットした上履きへの交換を実施。
>
> **③ 苦情:** 送迎時に職員がご家族へ声かけせず利用者を連れ出した案件。対策として利用者の自立度に応じた声かけの必要性を職員間で共有・統一。

■ 感染症

- コロナ・インフルエンザ陽性者: 0名

■ 日々の活動

- 調理・片付け・洗濯・草むしりなどの生活リハビリを実施
- 7月: 流しそうめんイベント、地域の夏祭りへ参加
- アルパ(ハープ系楽器) 演奏ボランティア実施、地域住民2名も参加
- 詩吟ボランティアも実施、ボランティア活動が広がりつつある
- 9月1日: 防災訓練実施(火災・地震・消火器使用説明・防災クイズ)

2. 意見・質問

・利用者家族A:
母は人づきあいが苦手だったが、流しそうめんだけ記憶に残るほど楽しんでいた。通ってよかったと感じている。

・利用者家族B:
要介護2のため、通所以外の日の見守りが心配。もう1日利用したいが難しく、日中の過ごし方が課題。地域の集まりや仲間との関わりができると良い。

3. 意見交換

- **民生委員不在について:** 沼田地区に民生委員がいない状況。自治会長が来年民生委員に就任予定で2名体制を目指している。
- **地域の高齢化:** 沼田地区は市内で人口増加中だが、高齢者の孤立や見守り体制が課題。包括センターが訪問時に近隣住民が協力的に声をかけてくれている様子。
- **買い物支援:** ローゼン閉店後の買い物困難の声あり。移動販売 (マックスバリュー) の活用や、ルート拡充の要望も出ている。
- **防災・避難訓練:** 9月末に地域合同避難訓練予定。避難場所は岩原小学校。ペット同行避難の取り組みも開始されている。
- **地域交流:** 沼田音頭の先生を招いた練習会を計画中。ボランティア演奏会の際に地域へも積極的に案内板を設置し周知する。

4. その他

- 施設は築100年前後の古民家を活用。耐震工事済み。風情を大切にした環境づくりを継続。
- 11月最終日曜日に焼き芋イベントを予定。地域住民・利用者家族も参加歓迎。

【確認・連絡事項】

- 連絡帳の記入・確認について、職員・家族ともに見落としのないよう互いに注意する。
- ボランティア演奏会など地域向けイベントは、回覧板や看板で周知を継続する。

【次回の予定】

令和9年 2月 (日程は改めて参加者に確認の上調整)

【配布資料】

- 運営状況報告書 (利用状況、事故報告、日々の活動写真、職員インタビューコーナー含む)